



バイカル・北海道考古学プロジェクト(2011—2017)

スタートアップシンポジウム札幌の開催について(お知らせ)

開催概要：

7月17日(日)、北海道大学学術交流会館においてカナダ社会科学人文科学研究協議会(SSHRC)と北海道大学の研究助成を受けた国際シンポジウムが開催されます。

本シンポジウムは、2011年1月から7年間にわたりSSHRCの支援を受けて、6カ国の研究者および大学院生が参加して実施される国際共同プロジェクトのスタートアップシンポジウムとして開催されるものです。

また、本プロジェクトにおいては、7月1日から礼文島においてカナダ、アメリカ、イギリス、日本の参加大学を中心とした国際共同フィールドスクールが実施されています。

国際フィールドは、今後毎年実施される予定です。

プロジェクト概要：

本プロジェクトは、2011年1月から7年間にわたりカナダ社会科学人文科学研究協議会(SSHRC)の研究助成を受けてカナダ、イギリス、アメリカ、ドイツ、ロシア、日本の研究機関の参加によって実施される国際共同研究(バイカル・北海道考古学プロジェクト)です。

今回のプロジェクトの柱の一つは、北海道をフィールドとした国際フィールドスクールを通じた次世代の若手研究者の育成です。フィールドスクールは、「花の浮き島」として知られる礼文島において7月から8月にかけて実施されます。プロジェクトとしては、本フィールドワークを通じた先住民族の研究者の養成にも力を注ぎます。

本国際共同研究を通じて、北海道の先史集団の食性や生活環境、健康状態、集団的系統性、文化的交流が明らかにされるでしょう。とりわけ、これまでの研究成果との比較研究を通じて日本列島における地域集団の歴史的形成や、先住民族であるアイヌ民族の地域性や系統性についても新たな研究成果が提示される予定です。

なお、本プロジェクトには連携組織として、礼文町教育委員会と北海道アイヌ協会も参加します。

開催趣旨：

本シンポジウムは、上記国際共同プロジェクトのスタートアップシンポジウムの一環として開催されるものです。

日程：平成23年7月17日（日） ※7月17日のみ一般向けに公開いたします。

場所：北海道大学学術交流会館（札幌市北区北8西5）

主催：カナダ社会科学人文科学研究協議会 (SSHRC)，北海道大学

参加費：無料

言語：日英同時通訳

プログラム：

10:00～10:30 **開会のあいさつ** - 司会：加藤博文（北海道大学アイヌ・先住民研究センター教授）

・ 来賓あいさつ

本堂武夫（北海道大学副学長）

加藤忠（北海道アイヌ協会理事長）

岩城修（礼文町教育委員会教育長）

・ プロジェクトリーダーからのあいさつ

アンジェイ・ウェーバー（アルバータ大学，カナダ）

・ プロジェクトチームの紹介 アンジェイ・ウェーバー

10:30～11:30 **講演1：ピーター・ジョーダン**（アバディーン大学，イギリス）

「北東アジアの完新世の狩猟採集民と北海道考古学プロジェクトの展望」

11:30～11:45 休憩

11:45～12:45 **講演2：ロバート・ローゼイ**（アルバータ大学，カナダ）

「バイカル考古学プロジェクトの10年」

12:45～14:00 昼食

14:00～15:00 **講演3：アンジェラ・リーバース**（サスカチュワン大学，カナダ）

「骨学資料の生物考古学：北海道とバイカル」

15:00～16:00 **講演4：羽生淳子**（カリフォルニア大学バークレー校，アメリカ）

「生業の専門化，気候変動，そして縄文ランドスケープに与えた人類への影響：日本の事例」

16:00 **閉会のあいさつ** - 加藤博文

* 事前申込み不要。直接会場までお越しください。

お問い合わせ先

所属・職・氏名：北海道大学アイヌ・先住民研究センター 教授 加藤 博文（かとう ひろふみ）

TEL/FAX: 011-706-4050 E-mail: h-kato@let.hokudai.ac.jp